

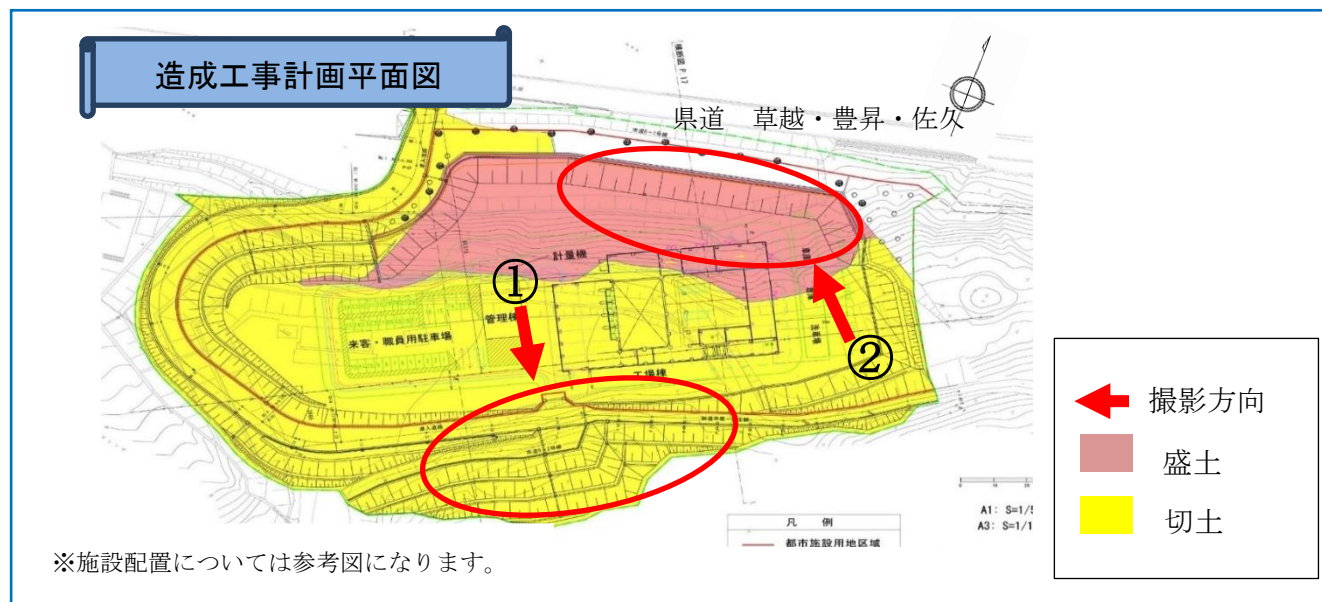


～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター整備に向けて～

## 新クリーンセンター整備事業の進捗状況について

長かった冬が終わり、新緑の季節を迎えようとしています。新クリーンセンター建設予定地周辺においても、木々が芽吹き、春の訪れが感じられます。

建設予定地では、昨年から引き続き敷地造成工事が行われています。現場状況につきましては、下記写真をご参照ください。



## 環境影響評価 環境保全措置及び事後調査の実施状況について

工事が進む新クリーンセンター建設予定地周辺では、平成 27 年度から環境影響評価書に基づいて、様々な環境に関する調査や保全のための措置を実施しています。工事の進捗に伴い、これまでの動植物に関する調査や保全措置に続き、生活環境系(大気質、騒音・振動、\*水象)に関する調査を実施し、調査結果がまとまりました。

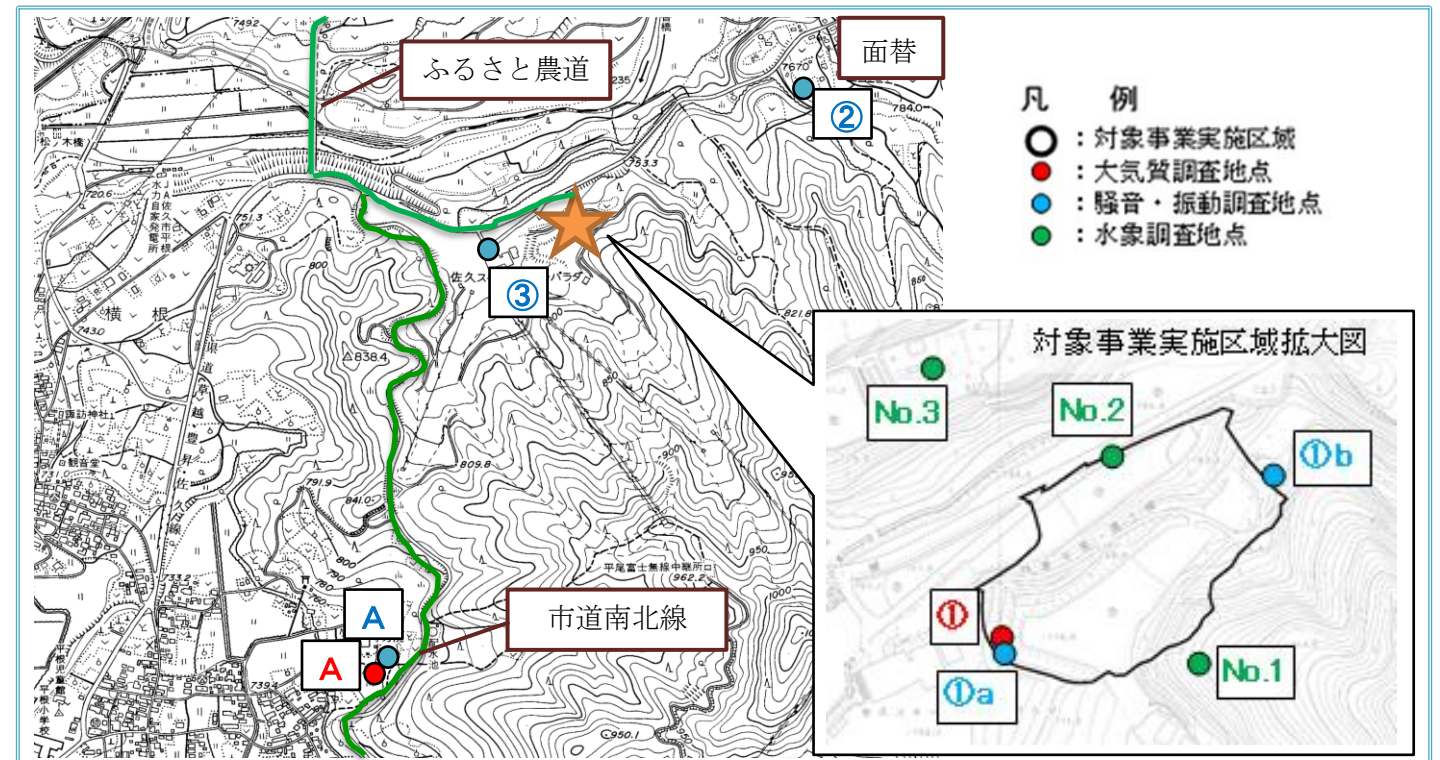
今回、すべての調査項目について、環境保全のための目標をクリアしている状況でした。引き続き、環境保全に配慮した安心、安全な工事の進捗に努めてまいります。

(\*水象:気象又は地震に密接に関連する陸水及び海洋の諸現象)

### 【調査内容】

調査項目	調査内容	調査地点 (下の図1参照)	調査期間
大気質調査	地上気象 (風向、風速、気温、湿度) 降下ばいじん	1 地点 ・ 地点① 対象事業実施区域内	平成 28 年 11 月 11 日～ 平成 28 年 12 月 12 日
	二酸化窒素	1 地点 ・ 地点 A 残土搬出ルート (上平尾地区：守芳院東側付近)	平成 28 年 12 月 3～9 日
	浮遊粒子状物質		
騒音・振動調査	建設作業騒音・振動レベル	4 地点 ・ 地点①a 対象事業実施区域 (パラダ側) ・ 地点①b 対象事業実施区域 (面替側) ・ 地点② 面替地区 (上尾崎付近) ・ 地点③ 北パラダセンターハウス	平成 28 年 12 月 6 日
	道路交通騒音・振動レベル 交通量調査	1 地点 ・ 地点 A 残土搬出ルート	
水象	地下水位	3 地点 ・ No.1 観測井戸 ・ No.2 観測井戸 ・ No.3 既存井戸	・ 観測井戸 2 地点 平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月 ・ 既存井戸 1 地点 平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月

### 【図1 調査地点】



#### ①切土部分の作業状況

2 台の掘削機により掘削作業を進めています。

[H29.4.17 撮影]



#### ②盛土部分の作業状況

この場所には、高さ約 10mの擁壁が築かれます。現在、改良剤と現地の土砂を混ぜ合わせ、強固な地盤に改良しています。

[H29.4.17 撮影]

【調査結果】

調査項目	事後調査結果						
大気質調査	○建設工事に伴って発生する粉じん等の状況を調査しました。結果、環境保全のための目標値を下回っている状況です。						
	【粉じん（降下ばいじん）（単位：t/km <sup>2</sup> /月）】						
	地点	現地調査結果			環境保全のための目標		
		水不溶性	水溶性	合計			
	①	4.3	1.4	5.7	10 以下		
【二氧化硫素（単位：ppm）、浮遊粒子状物質（単位：mg/m <sup>3</sup> ）】							
調査項目	地点	現地調査結果（日平均値）		環境保全のための目標			
		平均	最高				
二氧化硫素	A	0.008	0.009	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。			
浮遊粒子状物質	A	0.009	0.019	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であること。			
【地上気象】							
地点	最多風向	期間平均値					
		風速	気温	湿度			
①	南	1.3m/s	4.0℃	80%			
騒音・振動調査	○建設機械の使用や残土運搬車両により発生する騒音や振動の状況を調査しました。結果、環境保全のための目標値を下回っている状況です。						
	【建設作業騒音・振動レベル（単位：デシベル）】						
	調査地点	【騒音】事後調査結果		環境保全のための目標	調査地点	【振動】事後調査結果	
		時間率騒音レベル (LA5)				振動レベル (L10)	環境保全のための目標
	①a	55	85 以下	①a	33	75 以下	
①b	63	①b		25 未満			
②	51	-	②	25 未満			
③	60		③	25			
【道路交通騒音・振動レベル（単位：デシベル）】							
調査地点	【騒音】事後調査結果		環境保全のための目標	調査地点	【振動】事後調査結果		
	等価騒音レベル (LAeq)				振動レベル (L10)	環境保全のための目標	
A	60	65 以下	A	30	65 以下		
【交通量】							
調査地点	一般車両			工事関係車両(台)	合計	工事関係車両混入率(%)	
	大型車(台)	小型車(台)	二輪車(台)				
A	15	243	0	221	479	46	
水象	○地下水位の状況について調査をしました。結果、各地点の水位は、ほぼ一定の状況でした。						
	【地下水位】						

平成 29 年度 佐久市・北佐久郡環境施設組合事務局職員体制について

平成 29 年 4 月 1 日付の人事異動により、組合事務局の職員体制が下記のとおり変更となりました。3 月 31 日をもって、大森会計管理者(佐久市派遣)が退職、青木事務局長(佐久市派遣)が会計管理者へ異動となり、建設系の渡辺主任(佐久市派遣)、中村主査(立科町派遣)がそれぞれ派遣解除となりました。4 月 1 日以降の職員体制については、下表のとおりです。新体制のもと、今後も引き続きよろしく願いいたします。

係名・職名・派遣元組織市町	4 月 1 日以降 氏名	派遣解除職員	
		職名	氏名
会計管理者	佐久市 青木 源		大森 一
事務局 局長	佐久市 木内 孝昭	局長	青木 源
総務係	係長	軽井沢町 岩井 和成	
	主任	佐久市 依田 佳子	
建設係	係長(技師)	佐久市 高橋 豪	
	主任(技師)	佐久市 石井 賢太	主任(技師) 渡辺 英俊
	主任	佐久市 大井 喜幸	
	主査	御代田町 小山 ゆう子	
	主査	立科町 小淵 正弘	主査 中村 惇志

▶新クリーンセンター建設予定地から望む浅間山 [H29.4.10 撮影]



編集後記

新クリーンセンター建設予定地の北側を通る県道沿いの桜が、今年もきれいな花を咲かせ、通る人の心を和ませています。造成工事が続く敷地内は、この 1 年で大きく変化しました。新クリーンセンターは、御代田町を含めた佐久地域のごみ処理を担う大切な施設です。苦渋の決断をして建設の受け入れをくださった地元区の方々が共通してお持ちになっているのは、将来の御代田町を想う強いお気持ちだと痛感しております。

今年度も環境影響評価の事後調査として、生活環境系調査や施設建設のために移植したヤエガワカンバをはじめとした希少種の生育状況確認を実施予定です。調査結果は、工事の進捗状況とともに「湯川だより」等を通じ、公表してまいります。工事期間中は、建設用車両の通行等によりご迷惑をお掛けしますが、引き続き工事へのご理解をお願いいたします。

【発行】 御代田町役場 町民課 環境衛生係  
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3114（町民課直通）

【組合問合せ先】 佐久市・北佐久郡環境施設組合 事務局  
佐久市中込 3056 番地（佐久市役所内） 電話：0267-62-2916